



特集 テーマ

子ども食堂によろこそ！

令和3年2月発行(昭和51年12月1日発行)

勉強したり遊んだり食事もできる

子ども食堂は みんなの居場所です

「週末のご飯はボク一人なんだ」「お母さんがお仕事の日はお弁当を買って食べるの」そんなとき、助けてくれるのが「子ども食堂」です。栄養満点のあたたかいご飯を作って迎えてくれるのは、近所のおじさんやおばさん、お姉さん、お兄さんたち。子ども一人でも入れるので、気軽に立ち寄ってね。

子ども食堂は いろいろな呼び名があるよ

- 地域食堂
●子どもカフェ
●みんな食堂 などなど



古里子どもカフェ

「おいしい!」「楽しい!」と言ってもらえるようにメニューをいつも考えています。



公民館・児童館

子ども食堂では

学校やおうちの近くにあり。週末などに子ども食堂が開かれます。家族や友だちとご飯を食べることが出来ます。

子ども食堂の お誘いは、チラシや掲示板を見てみよう

近所のお店

夕方まで開いています。おやつを食べながら、過ごせます。



たがしやG(中野市)

ごはんが食べられます

元気なあいさつに、パワーをもらおう!



みんなが大きくなっていくのを見るのも楽しみだよ

おなかいっぱい食べてね

宿題や勉強ができます



悩みや相談を話せます

友だちと遊んで過ごせます

出張お届け



集まるのが難しい時期、みんなの近くにお弁当とメッセージをお届けしています。

おはなすび会(安曇野市)

ちょっとでも顔を見て会えるとホッとしますね



オンライン

パソコンやタブレットを使って、離れたところでも友だちや先生と学習時間を共有できます。自習中でわからないとき、聞くことができます。



子どもの居場所@バーチャル(長野市)

トピックス SDGs 持続可能な開発目標 私たちができること

今回は、目標1「貧困をなくすこと」目標12「責任を持って生産し、消費すること」について紹介します。

1. 目標1 貧困をなくすこと
世界中のあらゆる形の貧困を終わらせる

目標1を達成するために、世界の国々が合意したこと
すべての人が、必要とするあらゆる種類の食料から十分な食料を得ることができ、必要な栄養素を受け取れるようにし、これは社会的保護と併せて、特に脆弱な人々、若い人々、高齢者、障害者、貧乏な人々、移民、難民、国内避難民、およびその他の脆弱な人々を支援するために必要です。

2. 目標12 責任を持って生産し、消費すること
持続可能な方法で生産し、消費する

目標12を達成するために、世界の国々が合意したこと
一人あたりの、捨てられる廃棄物の量を、世界全体で減らすように、人も企業も取り組めます。

なぜこの目標は子どもや若者にとって大事なのでしょう?
目標12は、持続可能な開発目標の中で、最も身近な目標の一つです。私たちの生活の中で、毎日消費しているモノやサービスは、どこかで生産されています。その生産過程で、環境や社会にどのような影響を与えているのか、私たちは知ることができ、行動することができます。

水や食料、木、エネルギーといった資源を無駄にしないよう、毎日の生活であたごちやこ工すればできることは何がありますか?

出典:セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン
ハンドブック「私たちが目指す世界 子どもたちのための「持続可能な開発目標(SDGs)」」日本語版

子ども食堂に行ったら、手洗い・うがいはしっかりと! からだや気持ち・調子が悪い時は まわりの大人に相談しよう。

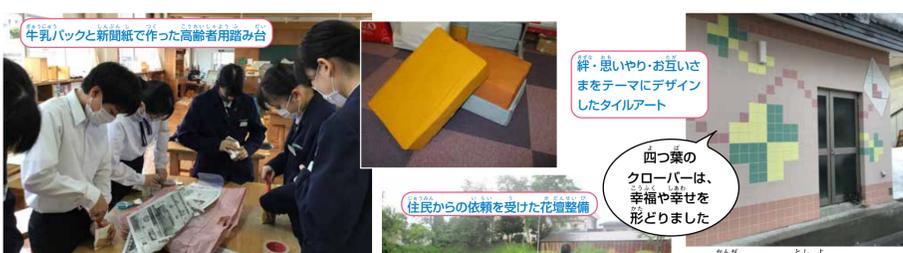


各校のボランティア・地域活動の紹介

木島平村立 木島平中学校

輝け! 木島平未来塾

地域の一人として自分たちができることを



木島平中学校では、総合的な学習の時間の一環として「輝け! 木島平未来塾」の活動が始まり6年目を迎えています。今年度は、2・3年生が7つの講座に分かれ、地域のもの・ひと・こととつながりながら学習を深めてきました。「地域の困り解消隊」(通称:OK隊)の講座では、村民の方々の困っていることを公募し、隊員が現地に足を運んで様々な活動を行いました。昨年度までは、キャンプイベントのスタッフ、沿道の花壇への花植え、高齢者のお宅の庭の草取り、農家のお手伝いなどなど、村民の方とふれあいながら活動を行ってきました。今年度はコロナ禍の状況下で自分たちができること

私たちの学校では、こんな活動をしています。

各校のボランティア・地域活動の紹介

NAGANO SDGs PROJECT

SDGs ポスター作り

小さな行動も、みんなでやれば大きな変化に!



NAGANO SDGs PROJECTは、長野県内の学校や会社、役所などが一緒にSDGsを多くの市民へ広げているプロジェクトです。プロジェクトでは、SDGsのことをわかりやすく冊子やインターネットで紹介しています。学校では、SDGsを学ぶ授業をしています。そこで学んだことを、私たちができることは何か考え、それに取り組んでいくことも大切なことです。SDGsポスター作りでは、これからの一人一人の取り組みなどを表現して多くの人たちに呼びかけています。



ご飯が悲しい感じになるように周りを黒く塗りました。文字の所は少し黒色をうすくして文字を強調させました。
海無し県から 考えよう
川へのボイ捨てをなくしてほしいという想いで描きました。

令和元年(2019年)10月、台風第19号の大雨で千曲川が決壊し、東北中学校の校舎内には泥がたまり、授業ができなくなりました。2週間ほど学校は休校し、10月下旬には授業を再開しました。



休みの間、生徒たちは自主学習を進めたり、自分のできることで片付けを手伝う生徒もいました。学校再開後は、校舎の修繕をしながらの授業となり、マスク着用や手洗いが習慣となりました。
これらの教訓は、特別なものとしてではなく普段からの行いとして身につけ、災害に対する心構えや現在のコロナの感染症対策の中でも活かされています。また、こうした経験により、自ら取り組む学習の力がつき、自分のできることで得意な分野を活かし、学校や地域活動に取り組む姿勢が身についたと思います。

18歳までの子どもがかけられる「子ども専用電話」

チャイルドライン
フリーダイヤル 0120-99-7777
困っているとき、悩んでいるとき、なんとなく「だれかに話したい」、そんなとき……気軽にかけてください。
ちょっとしたいいことも、名前を言わなくてもいいので安心して話してください。
★お説教はしません。
どんなことでも、いっしょに考えます。
みんなにカードが届くよ。フリーダイヤルでかけよう!

あなたのまちのボランティアセンターへ行こう!

長野県社会福祉協議会
まちづくりボランティアセンター
〒380-0936 大学中野所字岡田98番地1 長野県健康福祉事務所庁舎内
TEL.026-226-1882 FAX.026-227-0137
電子メール vcenter@nysakyo.or.jp
ホームページ http://www.nysakyo.or.jp